

第2回宜野湾市振興計画審議会

会議録

会議の名称	第2回宜野湾市振興計画審議会
開催の日時	令和2年12月1日（火） 開会：9時30分 閉会：11時30分
開催場所	宜野湾市役所 庁議室
出席委員氏名	<p>◎瀬口 浩一（琉球大学 国際地域創造学部）          ○岩田 直子（沖縄国際大学総合文化学部 人間福祉学科）          ・玉城 直美（沖縄キリスト教学院大学 人文学部英語コミュニケーション学科）          ・福里 清孝（宜野湾市商工会）          ・高里 健作（宜野湾市観光振興協会）          ・棚原 和明（宜野湾市認可保育園長会）          ・仲村 清（宜野湾市自治会長会）          ・仲村渠 満（宜野湾市社会福祉協議会）          ・宮里 弘美（市民公募枠）          ・石川 正信（宜野湾市教育委員会）          ・前田 晋（株式会社沖縄銀行普天間支店）          ・宇根 信明（日本労働組合総連合会沖縄県連合会連合沖縄中部地域協議会）          ・山内 一郎（FMぎのわん）          ・野崎 聖子（うむやす法律会計事務所）          ・安藤 陽（市企画部）</p> <p>※◎は宜野湾市振興計画審議会会長、○は副会長を示す。</p>
欠席委員氏名	<p>・小野 尋子（琉球大学 工学部環境建設工学科）          ・大城 秀信（宜野湾市老人クラブ連合会）</p>
事務局	《企画部企画政策課》 泉川次長、仲泊技幹、玉城係長、宮良担当技査、具志堅担当主査、大浜担当主査
会議内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 報告（進行：会長）          (1) 第1回宜野湾市振興計画審議会等における質疑等について          (2) 市民アンケート及び行政内評価のクロス集計について</p> <p>3. 議事（進行：会長）          (1) 第四次宜野湾市総合計画後期基本計画（原案）          (2) 第二期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）          及び宜野湾市人口ビジョン（原案）について</p> <p>4. その他          (1) 第三次宜野湾市国土利用計画（素案）について          (2) 第3回宜野湾市振興計画審議会の開催日程について</p> <p>5. 閉会</p>

会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 第1回宜野湾市振興計画審議会等における質疑・意見・提言内容対応表</li> <li>・資料2 市民アンケート及び行政内評価のクロス集計について</li> <li>・資料3 第四次宜野湾市総合計画後期基本計画（原案）</li> <li>・資料4 第二期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）及び宜野湾市人口ビジョン（原案）</li> <li>・資料5 第三次宜野湾市国土利用計画（素案）</li> <li>・参考資料1 第四次宜野湾市総合計画後期基本計画及び第二期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略における目標指標一覧</li> <li>・参考資料2 第1回宜野湾市振興計画審議会 会議録</li> </ul>
その他必要事項	

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	これより、第2回宜野湾市振興計画審議会を開催する。 まず、配布資料の確認をさせていただく。 それでは、議事に入りたいと思う。議事については、会長に会議の進行をお願いしたい。
会長	まずは報告から行う。報告1「第1回宜野湾市振興計画審議会等における質疑等について」及び報告2「市民アンケート及び行政内評価のクロス集計について」を事務局より報告願いたい。
事務局	事務局より報告1及び報告2について報告する。（資料1・資料2）
会長	それでは議題に入る。議題1「第四次宜野湾市総合計画後期基本計画（原案）」について事務局より説明願いたい。
事務局	事務局より資料3に基づき説明。
会長	事務局より説明があったが、質疑・確認等はあるか。
委員	男女共同参画については、近年大きく考え方が変化してきている。 男性か女性かではなく、多様性を尊重するように男女共同参画の考え方をアップデートすべきではないか。
事務局	多様性という言葉はキーワードとしては重要である。
委員	前回の条例は、多様性という言葉が含まれていることで反対された経緯がある。 総合計画に「多様性」の文言を追加することはできないか。

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	P35①の取組方針や個別計画のはごろもプランにおいても、多様性という文言が記載されている。 条例、総合計画については、3月議会でどちらも上程予定である。
委員	第3次男女共同参画計画～はごろもぷらん～の個別計画だけに掲げるのは弱いと感じる。ぜひ総合計画に組み込んで、アピールしていただきたい。
事務局	ジェンダーや多様性についての考えは、施策名①「男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発と平和な社会づくり」の取組方針に記載されている内容に含まれていると考えているが、文言自体を新たに追加するかどうかは検討していく。
委員	男女共同参画については、多様性を認めることが根幹にあると考えているが、その考え方をきちんと理解したうえで整理をしてほしい。 これから社会を支えていく若者たちから考えさせていく、中学や高校から教育・啓蒙が大切である。学校教育でも取り入れていくような次につながる考えを反映させてほしい。
事務局	市内小中学校においてはすでに男女混合名簿の整備は完了し、男女平等について各学校へ出前講座を行っている。 他にもどういったことができるかは検討していきたい。
委員	いかに市民に伝えていくか大事であり、SNSが評価されている中、宜野湾市のLINEなど活用したり、他にもSNS情報発信をどう周知していくの検討していただきたい。
事務局	市報やHPだけではなくLINEやフェイスブックでの周知も取り組んでいるところではあるが、新たな周知方法も考えていく。
委員	子育て支援の充実について市民満足度がCである。認定こども園が増えてきているなど待機児童は解消されてきているが、いまだ子育てしづらいという声も多い。 子育て支援のため有給の看護休暇など実施している市内企業等に対し表彰するなど、市民団体（企業）との連携についても総合計画に表現できないか。
事務局	現在、市内企業においても企業内保育所への取り組みなどを行っているところではあるが、後期計画の中でどういったことができるか皆様からのアドバイスなど意見をいただき検討していきたい。
委員	ここ数年、企業、NPO、専門職や様々なセクターが関連する包括的な地域社会を作っていくという流れがあるので、そういった縦割りではなく地域や本人の属性に合わせた社会づくりの方向性や施策を検討してほしい。
事務局	市においては市民協働推進課にて実施している市民提案型事業において、大謝名地区で看護師が地域を見守る事業を行うなどの事業実施をしている。ご提言のあった事項についても今後検討していきたい。
委員	子育て世代の現状として、保育所入所については、兄弟組が別々の保育園に配置されるといったことがある。送迎や行事などを考えると保護者の負担が大きいため、兄弟組が同じ保育所へ入所できるような仕組みづくりを行っていただきたい。

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	現在でもできるだけ同園入所や近い園へ入所するなどして対応しているところではあるが、ご提言があったことについて調整していきたい。
委員	市民や自治会だけではなく、市内企業の皆様も社会貢献や地域づくりに興味を持っていることから、事業として企業と連携していく地域づくりも検討していただきたい。
事務局	検討していく。
委員	女性の相談件数の増加に関する課題はあるものの、その施策があまりないように感じる。沖縄県や他市においてもそうであるが相談員が非正規のために、専門性の確保・維持が非常に難しくなっている。その専門性の確保・維持という観点から何か記載できることはないか。
事務局	現状は市も非正規職員の相談員が多くなっている。どのような取り組みができるか検討していきたい。
委員	ギガスクール構想の部分において、市民が分かりやすい表現へしてほしい。 ・ 1人1台端末⇒一人1台「PC」端末 ・ ③働き方改革「に関する取組」は削除したほうがシンプルでよいと思う。
事務局	削除等検討していく。
委員	スクールソーシャルワーカー（SSW）について、配置は重要と考えるが現状は常駐ではない。安心して働ける環境づくりも必要だと思うので、「担い手のサポート（担い手の育成）」などの文言追加や目標指標の設定を検討してほしい。
事務局	SSWについては、必要性は認識している。記載方法については検討させていただきたい。
委員	目指すまちの姿に記載されている「未来を担う人間力の育成」について、人間力とは抽象的である。一般市民が読んでわかりやすい文言や記載方法を検討していただきたい。
事務局	同段落の最後のほうで人間力の説明となっていると思うが、必要であれば記載方法等検討していく。
委員	人間力という文言を削除しても特に文章上問題なく通じるので、いっそのこと削除をしてもよいのではないかと思います。

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	検討していく。
委員	サンゴ礁、サンゴ、植樹活動の支援の追加を検討して頂きたい。観光客の誘致につなげられたらと考える。
事務局	検討していく。
委員	昨年度、アトムホームスタジアム（市立野球場）に大型スクリーンを設置しているので、多種スポーツ大会の分野においても大型スクリーン活用のイベント関係も考えていただきたい。
事務局	検討していく。
委員	サンゴにおける観光については、恩納村が先行している。恩納村を見てみると、サンゴで観光客らを誘致したが、結果的にサンゴに悪影響を及ぼしている。これから施策を検討していくのであれば、恩納村のように本末転倒になるのではなく、持続可能な施策として考えてほしい。経済が主語ではなくサンゴが主語となるような取り組みをお願いしたい。
事務局	本末転倒とならないよう関係団体ともルール作りを行っていききたい。
委員	地域商店街の活性化について、インバウンドの影響はあると思うが、今後、新型コロナウイルス感染症も収束しない中、非接触媒体が増えると考え。キャッシュレス決済などの普及率をあげるなどの目標値設定等は可能か。
事務局	来年度においては納税関係の納付書をペイペイ等で支払いが可能となるよう勧めているところである。企業におけるキャッシュレスの普及についての施策を検討していきたい。
委員	台風時はFMラジオで台風情報を24時間発信している。防災関係で市と協力していきたいが手法等が分からず難しい。何か市民防災室との連携ができる協議会等できないか。
事務局	現在も防災会議などの協議体はあるが、担当部署へも共有し、今後連携がとりやすくなるような仕組みづくり等を検討していきたい。
委員	市はFM局2局だと思うが、受信しづらい地域がある。そのあたりは把握しているか。常時間聞き取れる状態を作ってほしい。

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	防災無線のことだと思うが、市はアナログ無線からデジタル無線へ変えていく施策を進めていることから、受信がしづらいエリアは少なくなっていくと考えている。
委員	大学の授業でSDGsの取り組みを行っており、各市町村の課題を挙げていっているが、宜野湾市は安心して水が飲めないなど水質汚染の意見が多い。水質汚染問題に対し市としてはどのように取り組んでいくのか。
事務局	PFOSについては、国からも情報を得ながら状況把握を行っている。
委員	PFOSに関する問題だと思うが、市の飲み水はどこからきているかということも整理が必要。市民に不安を与えないような記載を検討していただきたい。
事務局	市の上水に関しては、北谷町の浄水場から取水しており、国の基準も満たしていることから安全性については特に問題ない。 PFOS関係については、基地問題か上水道の部分に記載するかどうかも含めて庁内でも整理させていただきたい。
委員	火葬場建設の現状はどうなっているのか。
事務局	H27年度に1市2町2村で取り組んできたが、結果的には断念した経緯がある。現在は関係自治体との情報交換を行っており、施策としては特段進んでいない現状である。
委員	①取組方針中、沖縄医療拠点について、医療ツーリズムを文言に追加できるのか。
事務局	以前、重粒子関連で医療ツーリズムについては話が挙がっていたが、具体していない。今後も琉球大学との意見交換等も踏まえながら継続して検討させていただきたい。
委員	基地問題について、騒音関係の苦情は減ってきているのか。
事務局	特段減ってきている状況はなく、むしろ増えてきている。現在もジェット機の騒音等のあった場合は、問い合わせ多数となっている。
委員	琉大病院と海軍病院との連携はあるか。行政は把握しているか。

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	周辺地域との連携も含めて模索中であるということをご理解いただきたい。
会長	その他、質疑等ないようなので、議事3「第二期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）について」事務局より説明願いたい。
事務局	事務局より資料4に基づき説明
会長	事務局より説明があったが、質疑・確認等はあるか。
委員	合計特殊出生率の「特殊」とは何か。
事務局	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。
委員	地域リーダー育成に関する取組に関して、参加者については毎回同じメンバーとなることも少なくない。若い世代や子育て世代、働き世代にも働けるようにしていただきたい。それには企業や大学での教育環境等を含めた連携が必要と考える。
事務局	今後検討していきます。
委員	Society5.0について、見守り自販機だけでは少し寂しい。もう少し中身があった方が良いと感じる。
事務局	現在、市で取り組んでいく設定となっており、まずはこの部分から取り組んでいきます。
委員	SDGsにおいて、17番パートナーシップが一番重要だと考えるので、地域づくりについてはもっと重要視してもよい部分だと思う。また、目標としても多様な人々が暮らしているので、出産や子育てにこだわりすぎてもよくない。宜野湾市で暮らしてみたいという気持ちが持続可能な社会が実現されていくと思う。リーダーを作ってもそれだけで終わってしまうこともあるので、一つ一つの小さな団体へ経費をかけるのも悪くはないが、センターなどを立ち上げて、住民がどう参加できるか、話し合いができる場づくりを検討してみてはどうか。

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	企業などとも連携した仕組みづくり等今後検討していきます。
委員	Society5.0の項目については「データサイエンス教育」という文言も含めた方が良いと考える。
事務局	検討していく。
会長	他に質疑等ないようなので、その他「第3次宜野湾市国土利用計画（素案）について」事務局より説明願いたい。
事務局	事務局より資料5に基づき説明。
会長	質疑等はあるか。
構成員一同	なし
会長	それではこれで質疑応答は終了する。意見等がある場合には意見提言用紙をご提出願いたい。 最後、その他「第3回宜野湾市振興計画審議会の開催日程について」事務局より願いたい。
事務局	次回日程等を案内後、閉会する。